

## 令和4年度 第14回入学式 式辞

満開だった桜の木が柔らかな緑の葉を身に纏い始めた今日の佳き日に、保護者の皆様の御臨席のもと、ここに第14回入学式を挙行できますことは、本校にとりましてこの上ない喜びであります。

ただいま入学を許可された新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんは名実ともに、この宮崎県立日南振徳高等学校の生徒となりました。心待ちにしていた高校生活がいよいよ始まります。今のその晴れ晴れとした気持ちを大切にしながら3年間の高校生活を送ってください。

また、義務教育修了までの間、お子様の成長を見守り励まされ、この日を楽しみにして来られた保護者の皆様方にも、本校職員を代表いたしまして、心よりお祝いを申し上げます。

さて、本校は県南地区において農業・工業・商業・福祉に関する専門教育を担ってきた3つの高校を統合・再編した総合制専門高校です。飢肥藩の藩校「振徳堂」の精神を教育理念として受け継ぐとともに、「人の人たる道の修業に努め、広く社会に貢献し、心豊かで思いやりのある生徒の育成を目指す学校であれ」という県民からの期待を背負い、今年で14年目を迎えました。

かつて、世の中を変えたいという高い志を実現するために、「振徳堂」で学んだ若者たちが読んでいたとされる書物のうちの「論語」・「礼記」・「孟子」から引用した校訓、「潔己・至道・振徳」の下で学んだ卒業生は2,200名を超え、県内外において産業を支える人材として幅広い職種・業種で活躍しています。

本校は産業現場で活躍するために必要な知識や技術・技能を身に付けさせる教育に力を入れています。しかしながら、社会に出て仕事をするためには、知識や技術・技能だけではなく、周囲に対する思いやりやコミュニケーション力も大切です。新入生の皆さんは学校行事や部活動等にも積極的に参加し、集団生活に相応しい言動について、実践を通して学んでほしいと思います。

また、学校は社会の一つです。社会にはルールがあり窮屈に感じることもあると思いますが、違った目的や目標をもった多くの人が集まっている中で、円滑な人間関係を構築するためには、ルールを守っていくことが何よりも大切であることを自覚しながら、行動してほしいと願っています。

ところで、皆さんは小学校から中学卒業までの間、日本国憲法のもと、保護者が施さねばならない義務としての教育を受けてきました。しかし、高校は義務教育ではありません。生徒の皆さん一人ひとりが「将来、こういう職業につきたい、こういう人になりたい」という目標を立てて自らの意思で学ばなければなりません。さらに、今年から成年年齢が18歳に引き下げられました。「間もなく大人になる」という自覚や心構えをもちながら、一日一日を大切に過ごしてください。

もちろん、3年の間には失敗したり、あるいは伸び悩んだりする時があるかもしれませんが、一所懸命に取り組む姿勢があれば、先生方が支援してくださいます。困った時は、担任の先生その他、身近にいる先生方、教育相談を担当する先生方に遠慮することなく話しかけてください。きっと、立ち直ることのできるヒントやさらに伸びるきっかけをもらえるとと思います。

ここで保護者の皆さまにお願いを申し上げます。本日より、大切なお子様を本校でお預かりいたします。高いところから誠に恐縮に存じますが、ご家庭におかれましては、ぜひとも学校の教育方針をご理解いただきますとともに、学校と連携してこれからの社会を担う貴重な人材として育てるためのご協力・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに。新型コロナウイルス感染症の拡大が止まらない中、感染対策を講じながらとなりますが、「日南振徳高校へ来てよかった」と思える、夢と希望に溢れた高校生活となるよう祈念して、式辞とします。

令和4年4月10日  
宮崎県立日南振徳高等学校  
校長 山下 勉